

赤間新市長就任、当面の課題は 7 点

中学 3 年までの子ども医療費無料に・6 月補正予算

委員会審査結果報告

5.14 臨時会が開催されました

2P

3P

4P

5P

人事案件・意見書

決議・議決結果一覧

いっぱん質問

議会ペーパーレス化9月議会から並行導入へ
委員会の動き

6P

7P

8P

16P



プロジェクトK (めぐみ保育園)



赤間新市長就任

施政方針 当面の課題は7点

赤間新市長が4月23日に就任し、最初の定例会となる6月定例会の初日、市長より施政方針が述べられました。

施政方針の概要

政治姿勢

第1に、「魅力あるまちづくり」を目指し、「公平公正な政治」を行うことを基本とし、公約を実行していきます。

第2に、行財政改革は、今後ますます厳しさを増すであろう市財政を勘案すると、市民の方への負担増を回避するべく、より一層の改革を推進する必要があると感じております。

第3に、市民の皆さまのニーズに即した公開できる情報は、行政自らが広報、ホームページなどを利用し積極的に、また適時適切に公開していき、市民

の皆さまに信頼していただけるよう「開かれた市政」運営に努めます。

当面する課題

○庁舎問題

今後の維持管理費や現各庁舎の老朽化具合から考えて、庁舎1本化に向けて、出張所の設置など地域への激変緩和措置を検討し、財政状況も勘案しながら、市民の皆さま、議会のご理解を得ながら推進します。



碓井庁舎

○情報通信基盤整備

どのようなサービスを提供するのかを決めた上で、望ましい情報

通信基盤を検討する必要があるため、整備計画の検証作業を行い、必要であれば内容を見直します。

○市内交通体系の見直し

市バスと福祉バスを統合し、全市にバスを走行させる整備計画を事業者の方との協議、議会への計画案の報告や市民の皆さまへの周知など、ご理解を得ながら推進します。

○火葬場建設

平成30年度に供用開始予定とされておりましたが、より早い時期での市民サービスができるよう、1年間前倒しし、平成29年度に供用開始をするスケジュールとします。



嘉麻斎場

○行財政改革

平成28、29、30年度までの第三次実施計画は、これまでに先送りされてきた、難しいもののばかりが残った状況での計画策定となるので、内容については、非常に厳しいものになることが予想されます。

早期に第三次実施計画策定に着手し、市民の皆さまへの負担増の回避のため、創意工夫をこらし、市民の皆さま、議会のご理解も得ながら推進します。

○社会保障・税番号制度への対応

本年度から本格的に経費をかけてシステ

ムなどを構築していく必要があります。制度開始に支障のないよう、また市民の皆さま、議会への関係情報の周知を遺漏なく行いながら推進します。

○国道322号及び八丁トンネル関係

八丁トンネルの完成により活性化に寄与するものと期待しているところであり、当面は事業進捗の状況を注視したいと考えています。

本年度の重点施策

- プロジェクトKの更なる推進
 - 教育の充実
 - 子育て支援の充実
 - 福祉施策の充実
- 以上の4点が掲げられています。

※市長の施政方針を受け議員からは、具体的な施策について質問がなされました。

(一般質問記事参照)

中学 3 年までの入院の場合の

子ども医療費を無料に



子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正

昨年3月議会で、小学4年から6年の入院の場合の医療費を無料とする改正を行っていましたが、平成27年1月1日の診療分から、その支給対象を中学3年まで拡大します。
(4ページに関連記事)

碓井老人福祉センター条例及び碓井老人いこいの家条例を廃止

老朽化等により、現在休館中の碓井老人福祉センター及び碓井老人いこいの家の2施設を廃止します。

今後の予定は、今議会で解体工事の設計業務委託料及び事前調査の業務委託料を計上し、来年2月には解体にとりかかります。

碓井老人福祉センター及び碓井老人いこいの家を廃止

6月補正予算

一般会計 8億6,887万8千円増額

総額 260億6,920万4千円

国民健康保険特別会計 5億845万7千円増額

総額 64億9,575万8千円

後期高齢者医療特別会計 補正なし

総額 6億5,324万7千円

介護保険特別会計 473万2千円増額

総額 57億9,203万7千円

住宅新築資金会計 補正なし

総額 1,804万7千円

水道事業会計 補正なし

収益的支出 7億8,580万9千円

資本的支出 3億1,996万2千円

総額/13億8,206万7千円増額の401億3,406万1千円

一般会計補正の主なもの

(歳入)

財政調整基金繰入金 3億2,088万7千円増
強い担い手づくり県交付金

1億9,529万4千円増

火葬場建設事業債(合併特例債)

7,150万円増

(歳出)

議会パーパーレス化事業 588万5千円増

火葬場建設設計委託料 7,535万6千円増

強い担い手づくり交付金

1億9,529万4千円増



強い担い手づくり交付金
(育苗センターが設置されます)

委員会 審査結果報告



定例会中に開催された委員会の
審査や活動を報告します。

(各委員会で付託された議案の審議結果は7ページ)



嶋田委員長



田淵副委員長



藤 委員



森 委員



岩永委員



浦田委員



豊 委員

民生文教委員会

嘉麻市独自の
子育て支援を

子ども医療費の支
給に関する条例の
一部を改正

本案は、昨年3月議
会で、小学4年から6年
の入院の場合の医療費
を新たに対象とし、無
料化する改正を行って
おりましたが、平成27
年1月1日の診療分か
ら、その支給対象を中
学3年まで拡大するた
め提案されたものです。

委員より、今回の改
正は、入院の場合におけ
る医療費の支給対象拡
大であるが、通院の場合
についても支給するよ
うに拡充すれば、どれ
くらいの費用負担とな
るのかとの質問に対し、
小学校1年から中学校
3年までの入院、通院の
場合の支給総額は、個
人負担分を除き、約73
40万円を推計してい
る旨の回答がありまし
た。

また、少子高齢化が
原因で消滅する市町村
があるという新聞記事

を見たが、嘉麻市も少
子高齢化が進んでおり、
その傾向が強いと考え
る。飯塚市、桂川町と歩
調を合わせるだけでな
く、嘉麻市独自の子育
て支援、若い世帯の定住
促進などの施策を早期
に実現する必要がある
と思うがどうかとの質
問に対し、医師会の希
望は飯塚市、桂川町と
歩調を合わせてほしい
とのことであるが、嘉麻
市は嘉麻市として、関
係市町、医師会に働き
かけながら、独自の施策
を展開したい旨の回答
がありました。

審査の結果、出席者
全員で可決しました。



産業建設委員会

道路用地の寄附に伴う 市道の認定

市道路線の認定

本案は、嘉穂地区牛限の宅地造成により整備された道路敷の寄附を受けたことに伴い、当該道路敷を新たに市道路線として認定するものです。

執行部より、新たに認定する路線は、嘉麻ウエストヴィレッジ1号線から3号線までの3路線で、それぞれの道路延長は236m、128m、50m、道路幅員は全線6mです。

また、この路線は、ウエストヴィレッジ住宅団

地造成により整備された道路であり、平成25年11月29日付けで道路用地の寄附がなされ、市道受け入れ基準を満たす整備がなされたため、新たに市道認定するものであるとの説明がありました。

委員より、寄附により市道として受け入れる場合は、後で市が道路等の手直しをするようなことがないよう対応してもらいたいとの意見がありました。審査の結果、全会一致で可決しました。



嘉麻ウエストヴィレッジ1号線

5月14日

臨時会が開催されました

臨時会では、牛限小

学校大規模改造工事

(1工区)の契約議案や

副市長の選任議案な

ど、議案7件、報告2件

が提案され、すべて可

決、同意、承認されまし

【承認】

○法改正に伴い、非常勤

消防団員に係る退職

報償金の額を引き上

げる

○法人住民税の法人税

割の税率の引き下げ

及び軽自動車税の引

き上げを行う

○国民健康保険税にお

ける課税限度額の引

き上げ及び低所得世

帯に対する軽減拡充

を行う

【可決】

○工事請負契約の締結

について(牛限小学校

大規模改造工事(1工区)

【同意】

○白石二郎氏を副市長

に選任する

○山本幹雄氏を監査委

員に選任する

○鬼丸和久氏を固定資

産評価員に選任する

【選挙】

ふくおか県央環境施

設組合議会議員選挙の

結果、岩永利勝議員が

当選



工事が進む牛限小学校

2特別委員会

調査終了

情報漏洩に関する調査特別委員会は、地方自治法第100条の規定に基づき、平成23年12月14日付でFAX送信された資料の漏洩について19回にわたり調査しましたが、調査権の限界もあり、調査を終了することとなりました。

また、嘉穂地区小学校統合施設整備に関する調査特別委員会は、9回にわたり調査を行い、4月に嘉穂小学校が開校したので、調査を終了することとなりました。

広報委員の選任

山本幹雄委員が広報委員を辞任したため、新たに中嶋時夫議員が選任されました。



中嶋時夫委員

人事案件

教育委員の任期満了に伴い、引き続き次の方を任命することについて全会一致で同意しました。

豊福 眸子氏(嘉穂)

人権擁護委員の任期満了に伴い、新たに次の方を推薦することについて全会一致で同意しました。

高橋 祐子氏(稲築)
牟田口敏助氏(山田)

意見書

労働者保護ルールの改悪に反対する意見書

派遣労働者の労働条件の切り下げや地位のさらなる不安定化にながりがかねない労働者派遣法改正案は撤回することなど4項目の事項について国に要望するものです。

(全会一致・可決)

少人数学級の推進など定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2015年度政府予算に係る意見書

少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすることなど2項目の事項について国に要望するものです。

(全会一致・可決)

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方財政計画、地方税のあり方、地方交付税総額の決定に当たっては、国の政策方針に基づき一方的に決するのではなく、国と地方の協議の場で十分な協議のもとに決定することなど8項目の事項について国に要望するものです。

(全会一致・可決)

集団的自衛権行使容認について慎重審議を求める意見書

憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認については国民の理解が得られるよう慎重な審議を国に要望するものです。

(賛成多数・可決)

鳥獣の捕獲促進体制強化の速やかな実施を求める意見書

都道府県を越えて生息する鳥獣の保護・管理については、国が主導してより効果的な広域対応を行うための仕組みを検討することなど4項目の事項について国に要望するものです。

(全会一致・可決)

※このほか、「特定秘密保護法の廃止を求める意見書(案)」、「集団的自衛権行使を容認する解釈変更を行わないことを求める意見書(案)」の2件が提案されましたが、賛成少数で否決となりました。

決 議

暴力追放に関する決議

(決議全文)

本市では、市民の生活の安全と平穏を守ることを目的に、平成21年10月に、嘉麻市暴力団等追放推進条例を制定し、暴力団等の追放に積極的に取り組んできました。

しかしながら、昨年11月、元議員が、市が関係する工事関係者に対し、暴力団関係者との交際をほのめかし、不当な圧力をかけたとして、強要未遂容疑で逮捕され、本年4月には有罪が確定するという事件が発生しました。

警察、行政、事業者及び市民が一体となって暴力排除の気運の醸成を図っているにも関わらず、このような事件が発生したことは誠に遺憾なことであります。

よって、本市議会は、市民の信頼に値する倫

理性を自覚するとともに、嘉麻市暴力団等追放推進条例の目的を再確認し、全力を挙げて暴力追放に取り組むことを、ここに改めて決議するものであります。さらに、執行部に対しても、議会、行政、市民一体となつて、嘉麻市全体で暴力追放の意識を高め、安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、「暴力追放都市」として宣言することを求めるものである。

以上、決議する。

(全会一致・可決)

市長も

「暴力追放都市」を宣言



宣言文を読み上げる赤間市長

議案の結果一覧 (6月定例会)

○…全会一致
△…賛成多数
※…討論あり

各委員会では審査された議案を本会議で採決した結果

民生文教委員会		
議案第35号	入院の場合の医療費の支給対象を中学3年生まで拡大する	○可 決
〃 第36号	施設の老朽化に伴い碓井老人福祉センターを廃止する	○可 決
〃 第37号	施設の老朽化に伴い碓井老人いこいの家を廃止する	○可 決
請願 第4号	熊ヶ畑地区内の産業廃棄物処理業者の同処理業更新を許可しないことを求める意見書提出を求める	継続審査
〃 第2号	損傷が著しい山田地区の戦没者慰霊塔周辺の整備を求める	継続審査
産業建設委員会		
議案第38号	宅地造成により整備された道路敷の寄附を受けたことに伴い、市道路線として認定する	○可 決
〃 第39号	県道宮小路中益線の交差点改良に伴い、終点の変更を行う	○可 決
予算特別委員会		
議案第33号	平成26年度嘉麻市一般会計補正予算(第1号)	○承 認
〃 第34号	平成26年度嘉麻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○承 認
〃 第41号	平成26年度嘉麻市一般会計補正予算(第2号)	※○可 決
〃 第42号	平成26年度嘉麻市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○可 決
その他		
選挙第5号	選挙管理委員に佐々木義夫さん、茅島伊津美さん、福丸洋子さん、梅根徳次郎さんが当選	
選挙第6号	選挙管理委員補充員に廣瀬由美さん、嶋田豊さん、福田勇さん、加納恵子さんが当選	
選挙第7号	飯塚地区消防組合議会議員に白石二郎副市長が当選	

いっぱん質問

行政の考えを聞く



浦田 吉彦 議員

閉校後の5小学校どう活用するのか

9P

廣方 悟 議員

市政運営の基本姿勢と施政方針について

9P

田中 義幸 議員

赤間市長の施政方針について質疑

10P

新井 聖次 議員

「無限の可能性を大切に育む」ための教育問題について

10P

田上 孝樹 議員

携帯電話通話エリアの現状と課題・改善について

11P

岩永 利勝 議員

防災対策について

11P

中村 春夫 議員

市内の産廃行政について

12P

宮原 由光 議員

サルビアパークの温水プールについて

12P

山本 幹雄 議員

平成24年度福岡県内28市普通会計決算状況から

13P

藤 伸一 議員

介護保険事業について

13P

森 裕治 議員

政治姿勢について

14P

田淵 千恵子 議員

市長の施政方針について

14P

山倉 敏明 議員

施政方針と教育行政について

15P

豊 一馬 議員

行財政改革について

15P

紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

廣方 悟 議員

市政運営の基本姿勢と施政方針について

問. 自治の主人公は市民であり、行政運営をいかに進めるのか

答. 限られた資源、財源、個々の人の視点を大切に行政運営に取り組む



廣方議員

質 市政運営の基本姿勢について
憲法13条では、すべての国民は個人として尊重され、個人の幸福追求は最大限に尊重しなくてはならない。15条では、公務員は全体の奉仕者であつて一部の奉仕者であつてはならないとされている。そこで市長が言う公正公平の本質は、

質 赤間市長 公務員は、社会全体を公平に見渡して職務にあたらないか
質 市長の選挙公約3本の柱による魅力ある

質 市長の行政運営の最高規範とされている自治基本条例では、自治の主人公は市民であり、市の重要な決定については、市民の参画を必要とされている。そこで市長が言う広く市民のコンセンサスを得るとは、

質 市長 自治基本条例の精神にのっとり、市民の皆さんの理解を得る。
質 施政方針について
質 市長の選挙公約3本の柱による魅力ある



にし、行政運営に取り組む。
※ この他情報基盤整備、企業誘致、観光振興について質問しました。

浦田 吉彦 議員

閉校後の5小学校どう活用するのか

問. 跡地利活用委員会を早急に開催せよ

答. 来月に早急に実施していきたい



浦田議員

質 嘉穂小の通学対策で地域から色々要望が出ているがどうか。
質 松岡学校教育課長 指摘の通り、柳ヶ谷方面から徒歩通学してくる子どもは非常に時間がかかっている。スクールバスも乗降場所が居住区からかなり離れており、心配する声が出ている。今月末に通学安心安全協議会を設置し調査検討する。

質 統合前に各地区で行っていたときめき学習等について今後どうするの。
質 坂本生涯学習課長 ときめき学習は、夏休み期間中、地域の世代間交流でもあり、今年も実施し、次年度以降によりよい方向で事業を推進する。

質 閉校後の跡地利用について①宮野小の地域資源活用プロジェクト事業のスケジュール②他の小学校の跡地利活用委員会はいくつ開くのか③地域によっては体育館で敬老会やいろいろな行事を行っているが、演台やマイク施設などが使えず支障を来たす現状がある。しかも、避難施設でもあり、それにふさわしい施設にすべきだがどうか。

質 学校教育課長 1点目の宮野小はプロジェクトのため補正予算を計上しているが、地域交流専門員等の選任も含め、来月中に設立総会を開催し、具体的に進めたい。2点目は、各小学校に跡地利活用委員がおられるので、その委員を招集し、今後議論したい。3点目については、地域の声を十分に反映せず、学校備品を移動し、事前の説明も不十分であった。特に千手地区の市民にご迷惑をかけた。今後、そのようなことにならないようにしたい。

質 楽野教育長 跡地利用については、跡地利活用準備委員会があつたので、関係する所管課を集めて、早急に立ち上げた。出来たら早急に来月にも実施したい。



地域資源活用プロジェクト事業が実施される宮野小学校

新井 聖次 議員

「無限の可能性を大切に育む」ための教育問題について

問. 教育を充実するための具体的な取り組みは

答. プロジェクトKを推進し、教育の充実を図りたい



新井議員

質 市長は所信表明の中で「教育の充実」を表明されているが、「嘉麻市の子どもの未来への教育」に対して、具体的にどのような施策に取り組むのか。

質 認知症対策について
質 全国で認知症が原因で行方不明になる高齢者が後を絶たない現状であり、早期に家族の元に戻るよう、身元特定の仕事に有効に機能させることが重要である。無事に保護されながら、身元が分からずに施設に預けられたままとなるケースも少なくない。

池田高齢者福祉課長
認知症と呼ばれる症状には軽度なものから重度のものまでいくつかの段階があるが、軽度のもので含めると嘉麻

市での認知症の高齢者は、本年4月1日現在で約2000人程度である。
質 認知症対策は重要な課題と捉えており、現在、嘉麻高齢者対策ネットワークにより、あらかじめ家族の同意を得て認知症高齢者の写真や連絡先、身体的特徴を記載した情報シートを作成し、嘉麻警察署と連携して即座に対応できるよう努めている。



田中 義幸 議員

赤間市長の施政方針について質疑

問. 庁舎建設は市民意見を聞いて決めるのか

答. 庁舎位置は議会主導で決まった。説明会は開く



田中議員

質 庁舎位置は議会主導で決められているが、庁舎建設は市長にゆだねられている。庁舎建設は自治基本条例にある市民参画の対象に該当するか。

市長 該当する。しかし合併特例債の期限も勘案する。
質 庁舎一本化とはどういう意味か。
市長 庁舎建設を考えている。
質 市民の意見を聞いて決めるのか。

市長 庁舎位置は議会主導で決まった。現庁舎は老朽化している。説明会を行う。
質 第2次行政改革を実現する為には職員数削減が大きな要因であるとされている。しかし、人事秘書課によると「分庁解消は職員の400人体制実現にはならない」とある。どう思うか。
市長 組織改革をしないと無理と思っている。
質 合併特例債を計算すると現在まで41億円。

市長 そうならないよ
質 火葬場建設約10億円。超高速ブロードバンド事業約10億円。稲築多目的広場に庁舎建設すると約36億円だ。合計約100億円、その3割約30億円が借金となる。借金を仮に30年で返還すると約1億円。現在のケーブルテレビ事業は年間赤字約9千万円。平成33年度には一本化算定による財源不足16億円。合計約18億円の財源不足となる。
市長 そうならないよ
質 う努力する。
質 日本創生会議によると平成52年には、嘉麻市は消滅の恐れが指摘されている。庁舎を一本化すれば各支所周辺の商店街は衰退し、ますます人口減へと拍車をかけかねない。飯塚市、桂川町と更なる合併せざるを得ない状況を危惧する。いま庁舎建設は得策ではない。



稲築多目的広場

の役割が担える。

岩永 利勝 議員

防災対策について

問. 鴨生・平東地区豪雨災害 対策の進捗状況について

答. すべての工事完了は平成
30年度を予定している



岩永議員

質 鴨生地区豪雨災害
対策工事の進捗状況は。
山倉土木課長 調整池
に溜まった雨水を排水
するため、なつきプール
から枝坂バス停までの
間にボックスカルバート
設置の工事を行う予定
である。現在、付近の家
屋調査を実施しており、
12月完成を目指してい
る。また、鴨生ローソン
交差点付近の井堰拡張
工事を稲刈り後に、さら
に、平野小児科付近の冠
水対策として水路拡張

質 工事を今年度中に発注
する計画である。
産業振興行政について
質 飯塚市庄内から鴨
生東町に流出する雨水
対策のための調整池建
設の進捗状況は。
土木課長 飯塚市との
協議で、貯水量1万6千
トンの調整池建設を10
月に着工、3月には工事
を完成する計画となっ
ている。

質 平東地区の地下湧
水による路盤工事の進
捗状況は。
土木課長 測量は完了
し、湧水の処理工法等を
検討して設計に入り、10
月に工事発注を計画し
ている。
質 山間部から流出す
る土石流対策について、
その後の県との協議は。
大津農林整備課長 申
請箇所3箇所のうち東
側2箇所は崩壊が確認
されていない。西側の崩
壊箇所については治山
堰堤の測量設計を完了
しており、9月に工事発
注、10月に着工する予定

※この他に、稲築東小学
校運動場の30年前の陥
没箇所を再度調査する
よう質問しました。



水害対策が急がれる鴨生地区

田上 孝樹 議員

携帯電話通話エリアの現状と
課題・改善について

問. 携帯電話等エリア整備事業の 活用について

答. 情報基盤整備の進捗状況も
勘案しながらよく検討していく



田上議員

質 嘉穂地区千手長野
地域の住民から携帯電
話がつながるよう改善
してほしいとの声があ
るがその状況は。
篠崎地域情報課長 所
管課で把握している状
況としては、15世帯の内、
12世帯が全くつながら
ない状況となっている。
残り3世帯については、
通信会社1社のみ屋内
では無理だが、屋外では
かろうじてつながるよ
うな状況である。

質 このような状況か
ら、同じ嘉麻市の住民で
あるのに情報格差が生
じているのではないのか。
地域情報課長 ライフ
ラインとして位置づけ
られる携帯電話が日常
的に使用できないこと
は、著しい情報格差の状
態にあると認識してい
る。

質 これまでの不通話
エリア解消に向けた取
り組みは。
地域情報課長 地元住
民から要望書が2度提
出されている。市では早
急に改善を求める意見
書を付して、通信会社3
社に提出した。結果、う
ち1社が平成22年に簡
易版基地局を2基設置
したが、今のところ抜本
的な改善には至ってい
ない。

質 国の補助事業によ
る「携帯電話等エリア整
備事業」を活用して改
善を図ってはどうか。
地域情報課長 本市に
おいては、市内全域に光
ファイバーによる情報基
盤整備で検討している。
赤間市長 この補助事
業を活用することは有
効な手段だと考えてい
るが、情報基盤整備の進
捗状況も勘案しながら
よく検討していきたい。



捗状況も勘案しながら
よく検討していきたい。

宮原 由光 議員

サルビアパークの温水プールについて

問. サルビアパークは、まちづくりのために必要な施設だ

答. 財政的なことだけでなく、まちづくりの観点も含めた議論が必要である



宮原議員

質 サルビアパークの温水プール存続を求める署名活動が行われていると聞いたが、坂本生涯学習課長 署名活動のことは聞いているが、サルビアパークの温水プール廃止は、教育委員会としての機関決定や、協議・検討もしていない。温水プール廃止の話が広がったのは、広報から2月号の「行政評価の結果」を見てと憶測する。

質 旧山田市にサルビアパークが建設された経緯がある。落成式の来賓であったオリンピック選手鈴木大地さんからは、ゴーグルをかけないで泳ぐことができる、と大変評価されたプールでもある。外部評価では、年々一般事業利用者の減少が指摘されているが、自主事業の利用者はトータルで1,720人増加している。平成28年度以降は、プール運営を行わないことを検討すべきとしているが、体

質 アパークが建設された経緯がある。落成式の来賓であったオリンピック選手鈴木大地さんからは、ゴーグルをかけないで泳ぐことができる、と大変評価されたプールでもある。外部評価では、年々一般事業利用者の減少が指摘されているが、自主事業の利用者はトータルで1,720人増加している。平成28年度以降は、プール運営を行わないことを検討すべきとしているが、体

質 熊ヶ畑産廃廃棄物処分場については、平成25年12月26日で許可期限が切れているが、県は繰り返しの変更認可申請はできないと言いつつ、みなし許可として営業を認めている。市民を代表して、県に対して強く不許可を要望してもらいたい。

問題も含んでいる。これまでの経緯や詳細を確認し、速やかに一定の方向性を示したい。



サルビアパーク

中村 春夫 議員

市内の産廃行政について

問. 産廃行政に対する市長の考えは

答. 担当課と再度詳細に検討した上で、速やかに方向性を示したい



中村議員

質 嘉麻市、特に山田地区の産廃行政に対する市長の考えは、赤間市長 産廃問題については、権限を有する県が法律に基づき進めていくことが肝要であると考えている。先日、県庁で知事に会った時に、「嘉麻市の産廃問題も早く解決しなくてはいい」という話を聞いた。個々の産廃問題に対する所見については、担当課と再度詳細に検討した上で、速やかに方

質 向性を示したい。熊ヶ畑地区の不法投棄産廃について、その後の県との交渉経過は、安陪環境課長 新たな進展はない。百々谷地区の産廃処分場のその後の経過は、環境課長 今までと同じく、県としては超過ごみの撤去はしないという方針である。また、産廃場から隣接地にはみ出している産廃物について、地権者への指導が

質 あつては、現在協議中であり結論は出ていない。水質検査は継続して行い、例年7月ごろ実施されている。百々谷産廃廃棄物中間処分場における保管量の超過について、その後の経過は、環境課長 3月以降、改善の兆候が見られないため、県としては行政指導から行政処分へ切り替える予定である。処分場の内容は現在検討中である。

質 熊ヶ畑産廃場の拡張申請及び営業許可申請については、その後の経過は、環境課長 現在も審査中であり、内容は非開示であるため示すことができないという県の回答である。申請の中の残容量1・619mについて、県は確認しているのか。環境課長 県の現地調査は1月末に終了している。

質 平成25年度の搬入量は、環境課長 現在、県が集計中である。



藤 伸一 議員

介護保険事業について

問. 嘉麻市の地域包括ケアシステムの取り組みは。

答. 医療と介護の連携の仕組みづくりを検討していく。



藤議員

地域包括ケアシステムについて
質 地域の実情や、特性に合った仕組みづくりや、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられる、新しいケアシステムの構築が喫緊の課題と考えるが、
池田高齢者介護課長 今年度が第5期の介護保険事業計画の見直しの年度となっており、嘉麻市に合った医療と介護の仕組みづくりを検討していく。

赤間市長 医療から介護へのスムーズな移行、社会支援・地域力を十分に生かした地域包括ケアシステムを構築する必要がある。
認知症対策について
質 早期・事前的な対応の観点から、軽度認知障がいに対しての頭の健康チェックの検査項目導入の考えは、
池田高齢者介護課長 認知症に対する早期のケア等にも効果があるので、健康課と協議・

連携を図っていく。
介護ボランティア制度の導入について
質 制度導入に向けての今後の取り組みは、
池田高齢者介護課長 地域支援事業のあり方や、元気な高齢者が生きがいを持って、自立した生活が続けていくために、導入に向けて前向きに検討していく。
 他に、「教育行政」子ども安心カードの導入・がん教育の強化について

〔福祉行政〕臨時福祉給付金・子育て世帯臨時給付金の支給予定について質問をしました



山本 幹雄 議員

平成24年度福岡県内28市普通会計決算状況から

問. 県下最低域の地方税だが、どのような町づくりを考えるか



山本議員

答. 国道322号八丁峠トンネルを見込み、工業団地構想を早急に進めていきたい

質 地方税が県下最低域だが、他と比較して何が異なるのか。
鬼丸税務課長 市民税の課税対象者の割合は37.9%と県下最低の水準だ。課税対象者の1人当たりの平均税額は県下10万6千円に対し嘉麻市7万6千円、固定資産税の税収についても最下位で、その理由は①課税価格の低い山林や農地の割合が多い②宅地の割合が少ない③宅地の評価額の平均価

格が低い④工場等の大規模な建物が少ない。参考までに隣接する田川市の固定資産税は、嘉麻市の約2倍の22億5千万円。その要因は、土地の平均価格が高く、マンションや工場等の大規模な建物が多いこと等だ。
質 嘉麻市の人件費は地方税を約12億円もオーバーし、赤字再建団体1歩手前の様な決算だ。また人件費約35億8千万円と非常に高く、人

口10万都市と肩を並べ、税収はその4分の1なのになぜ高いのか。
田中人事秘書課長 要因は①公立保育所数が他自治体より多い②高齢化率が高い③生活保護世帯数が多い④市営住宅の戸数が非常に多いという状況などにより職員数も多く、当然人件費もその分多くなっている。
質 県内最低域の税収、人口10万都市と肩を並べる高額な人件費、これ

らを踏まえてどのような町づくりを考えているのか。
赤間市長 嘉麻市の税収増の為に、市民の雇用の場を確保する企業を誘致することが大切である。国道322号八丁峠トンネルの供用開始が平成30年度と聞かれているので、工業団地構想を早急に進めていきたい。また、職員数については担当課が説明した通りであるが、今後行財政改革により対応し



人口比率の高い市営住宅

て行きたい。

田淵 千恵子 議員

市長の施政方針について

問. プロジェクトK・子育て支援・情報基盤整備について

答. 「魅力あるまちづくり」の実現に努力する



田淵議員

質 プロジェクトK導入のきつかけと指導結果は。
坂本スポーツ推進課長 平成22年度に徳島大学大学院の荒木教授に研修会をお願いしたことがきっかけで、平成24年度より公立保育所等に月3回の指導をお願いした。結果、子どもの体力の向上や身のこなし、コミュニケーション能力が身につく、多くの項目で全国平均を上回っている。

質 市長が示す小学校への導入について、学習指導要領との関係をどう考えるのか。
松岡学校教育課長 低学年における「体づくり運動」としての導入が可能である。また、全学年には体育科授業の準備運動として取り入れる。

質 子育て支援ニーズ調査結果、支援会議の進捗状況、待機児童の実態は。
野見山子ども育成課長 ニーズ調査の結果は、就学前児は認可保育所、小学生は児童保育へのニーズが高い。支援会議は10月頃パブリックコメントを実施し、来年3月に市長に答申する。待機児童については、7月の時点で対応済みだ。

質 児童の学力が問題視されているが、就学前こそ重要な時期と捉えている。是非、充実した政策を。
子ども育成課長 今後は保育士の確保が重要課題。この課題解消に向けて様々な取り組みを行っている。

質 情報基盤整備に対する考えは。
市長 官民の望ましい役割分担を考慮し、独居老人の安否確認、行政情報提供等のサービス内容を検討した上で、市内全域への光ファイバー



等による情報基盤整備をし、「魅力あるまちづくり」を実現したい。
※この他、嘉穂総合体育館の管理運営について質問しました。

森 裕治 議員

政治姿勢について

問. 庁舎問題は本当の合理化になるのか

答. 人員、設備を削減すれば合理化になる



森議員

質 まず最初に情報通信基盤整備事業について、現在民間のサービスが提供されていない嘉穂地区、山田地区の提供の予定を把握しているか。
篠崎地域情報課長 NTTの光ファイバーの提供予定時期は、会社側の話によると、山田地区では早ければ平成28年から一部地域で提供予定、そして嘉穂地区においては現在予定はないという話だった。

質 市長は早い時期に情報基盤整備を計画的に推進したいと言われているが、今後のスケジュールは。
赤間市長 施政方針でも示したとおり、こうした情報格差については早期の是正を図りたいと考えている。超高速ブロードバンド整備計画については策定作業に合わせて検証し、必要があれば見直す予定となっている。9月の議会ですケジュール案を示したい。

質 市内交通体系の見直しについて、市外高校通学の利便性向上の策があるのか。
松隈庁舎・交通体系対策室長 市外は地域間交通というものがあ、嘉麻市から桂川町、あるいは飯塚方面は西鉄バス路線がある。今後考えていく部分は対策室で検討する。

質 庁舎問題について、市長は行革の目玉と捉えてあるが、本当の合理化になるのか。
質 新聞等で人口の急減が予測されているが、一番心配する財政は大丈夫か。
市長 償還に関しては見合うと考える。



嘉麻市バス

※他に行財政改革や、産業振興についても質問しました。

豊 一馬 議員

行財政改革について

問. 行革先進自治体の実態調査を求めたい!

答. 調査を行い、行革推進に反映させる。



豊議員

質 市長は、就任一年目の初日から、登庁時の公用車での送迎をとりやめ、また、公私を区別するために2つの携帯電話を常時携帯するなど、先例にとらわれない思い切った無駄の切りつめを実行されており、ここに行財政改革を推進する市長の強い政治姿勢を感じ取れる。

普通交付税の大幅減額が始まる平成33年度を目標とした自立可能な健全財政を見据えた

質 「財政計画表」の作成を急がれたい。

赤間市長 普通交付税の合併特例措置が終わって、一本算定となる平成33年度には約15億円の赤字という数値も出てきている。直ちに見直し、9月定例会を目標に財政将来計画として提出したい。

質 第二次行政改革に示された財政効果額の84%は人件費の削減である。

昨年の担当課長の答

弁では、福祉事務所、保育所、総合支所等の本市の地域的事務からすると400人体制の実施は厳しいと言われていたが、市長は今回の一般質問の中で、人件費に係る職員数を一挙に350人に目標設定を切り替える決断を示された。

人口11万人規模の春日市、大野城市、宗像市では、嘉麻市より少ない人員で業務を遂行している。また、全国的にも

少数精鋭で頑張っている自治体も珍しいことではない。

この際、行財政改革を本腰で進めるためにも、全てに先んじて、市長が直接参加され、先進地の実態調査に取り組んでもらいたい。

市長 組織機構、人事配置等も含め、行財政改革推進のため先進地を調査し、その成果が反映できるように頑張りたい。



山倉 敏明 議員

施政方針と教育行政について

問. 消滅可能性都市リストに掲載されていたが

答. 重く受け止め、魅力あるまちづくりを全力を傾注したい



山倉議員

質 産業振興は、非常に重要と考えるが、施政方針の重点施策の中に取り上げられていない。市長の考えは。

赤間市長 嘉麻市ブランド化推進などを含め、今まで以上に産業振興に取り組みたい。

質 2040年には全国の自治体の半分に当たる896市町村で、子どもを産む女性が半減し、将来的には消滅の恐れがあるとして、政策提言機関・日本創成会議

が公表した「消滅可能性都市リスト」が新聞に掲載されていた。現在の政策、財政収支のあり方を見直す必要があるのではないか。

赤間市長 新聞報道であつたように、2040年に消滅する可能性がある自治体に嘉麻市が名を連ねていたことについては重く受け止めている。少子化による人口減少問題は、嘉麻市に限らず全国的な問題であり、若い世代が嘉麻市で

子どもを育てたいと思えるまちづくりのためには、教育レベルの向上や子育て支援の充実を図る施策を積極的に展開していくことが必要と考える。

「生まれ育った若者たちが定住したくなるまちづくり」「移住したくなるまちづくり」を目指し、さらに、環境整備を図りながら、子ども、高齢者、障がい者を持つ方々などすべての人にやさしいまちづくりとし

て尽力することが、人口流出の抑制につながると考えている。

こうした施策を展開していくためには、今後、行政の無駄を省くことによつてスリム化を図り、あわせて市民、地域、社会と行政が一体となつて、10年後、20年後を見据えた魅力あるまちづくりに全力を傾注したい。

※この他に、教育行政、通学路の整備等について質問しました。



議会ペーパーレス化

9月議会から並行導入へ

来年4月の本格稼働を目指す

6月定例会でタブレット端末を活用した議会ペーパーレス化関連経費を含む補正予算が可決され、9月定例会からこれまでの紙を利用した資料配布とペーパーレスを並行して議会の運営を行います。

7月から8月にかけては、通信やレンタルサーバー契約を行うとともに、運用規約を定めます。

また、8月末に機器を導入し、取り扱いの研修を経て、9月からタブレットを活用した議会をスタートします。

なお、今後は27年4月から全体の議案・資料をペーパーレス化とする本格的な移行を目指しています。

ペーパーレス化導入スケジュール

26年

7月～8月

通信・レンタルサーバー契約

運用規約の制定

機器導入

9月

取り扱い研修

並行運用（紙配付・ペーパーレス）

27年

3月

並行運用終了

4月

ペーパーレス本格運用開始



導入予定のタブレット端末

委員会の動き

議会運営委員会

5月7日

5月臨時会の日程等について

6月2日

6月定例会の日程等について

情報漏洩に関する調査特別委員会

6月20日

情報漏洩に関する事項について

（最終報告書の検討について）

広報編集特別委員会

4月7日

議会広報編集について

4月14日

議会広報編集について

4月21日

議会広報編集について

嘉穂地区小学校統合施設整備に関する調査特別委員会

6月24日

嘉穂地区小学校統合施設整備に関する事項について

（最終報告書の検討について）



広報委員（手前左から田淵委員長、田中義副委員長、後方左から、森裕委員、中嶋委員、田上委員、廣方委員）